

介護職員初任者研修カリキュラム

事業者名

学校法人 崎村学院

研修事業の名称 崎村調理師専門学校介護職員初任者研修通学コース

1 職務の理解 (6時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①多様なサービスの理解	3時間	<p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度の導入と経緯、意義の理解 ・介護保険サービス（居宅、施設）、介護保険外サービスの理解 ・介護保険サービス利用の手続きの理解
②介護職の仕事内容や働く現場の理解	3時間	<p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・居宅・施設の多様な現場における、それぞれの仕事内容の理解 ・各事業所を訪問し、現場職員による体験談、実際のサービス提供の現場の見学で、より深く仕事内容を理解してもらう ・ケアプランに始まるサービスの提供に至るまでの一連の業務の流れの理解 ・チームアプローチ、他職種、介護保険外サービスを含めた地域の社会資源との連携の理解 <p><演習実施方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護の仕事について、グループディスカッションを行う
合計	6	
2 介護における尊厳の保持・自立支援 (9時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①人権と尊厳を支える介護	6時間	<p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人としての尊重、アドボカシー（権利擁護）の理解 ・エンパワメント（自立性を促すこと）の視点の理解 ・QOL、ノーマライゼーションの考え方の理解 ・介護分野における ICF ・個人の権利を守る制度の概要の理解 ・利用者の尊厳を著しく傷つける言動とその理由について考えさせ、尊厳という概念を理解する ・虐待を受けている高齢者への対処方法についての指導を行い、高齢者虐待に対する理解を促す <p><演習実施方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記講義内容からテーマを選択し、グループディスカッションを行う。
②自立に向けた介護	3時間	<p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事例を複数示し、利用者の残存能力を効果的に活用する方法、自立支援や重度化防止への理解を深める ・意欲を高める支援の方法 ・個別性・個別ケアの理解 ・重度化防止の方法 ・介護予防の考え方
合計	9	

3 介護の基本（6時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①介護職の役割、専門性と多職種との連携	2時間	<p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護環境の特徴の理解 訪問介護と施設介護サービスの違い、地域包括ケアの方向性 ・介護の専門性 重度化防止・遅延化の視点、利用者主体の支援姿勢、自立した生活を支えるための援助 ・介護に関する職種 異なる専門性を持つ多職種の理解、専門職能力を活用した効果的なサービスの提供、チームケアにおける役割分担
②介護職の職業倫理	1時間	<p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門職の倫理の意義の理解 ・介護職としての社会的責任 ・プライバシーの保護・尊重
③介護における安全の確保とリスクマネジメント	2時間	<p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故に結びつく要因を探り、対応していく技術の理解 ・リスクマネジメントの分析手法と視点の理解 ・事故に至った経緯の家族・市町村への報告の理解 ・事故防止・安全対策の情報共有の方法の理解 ・感染症対策 感染源の排除、感染経路の遮断、感染に対する正しい理解 <p><演習実施方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故報告書の作成
④介護職の安全	1時間	<p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職の心身の健康管理 ・ストレスマネジメント ・腰痛予防、感染予防 <p><演習実施方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・手洗い手順表に従って手洗いを行う
合計	6	

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (9 時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①介護保険制度	3 時間	<p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護保険制度創設の背景及び目的・動向の理解 ケアマネジメント、予防重視型システムへの転換、地域包括支援センターの設置、地域包括ケアシステムの推進 ・ 保険制度としての仕組みの基礎的理解 ・ 要介護認定の手順の理解 ・ 制度を支える財源、組織、団体の機能と役割の理解 ・ 指定介護サービス事業者の指定 <p><演習実施方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各自が実際の認定申請書や認定調査用紙に記入してみる
②医療との連携とリハビリテーション	3 時間	<p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医行為と介護の理解 ・ 訪問介護サービスとは ・ 施設における看護と介護の役割・連携の理解 ・ リハビリテーションの理念
③障害者自立支援制度およびその他制度	3 時間	<p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者福祉制度の理念の理解 障害者の概念、ICF の手法 ・ 障害者自立支援制度の仕組みの基礎的理解 ・ 個人の権利を守る制度の概要 個人情報保護法、成年後見制度、日常生活自立支援事業
合計	9	

5 介護におけるコミュニケーション技術 (6 時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①介護におけるコミュニケーション	3 時間	<p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割 ・利用者へのコミュニケーションの能力への配慮 ・言語的・非言語的コミュニケーションの実際 利用者・家族のそれぞれの思いを理解する) ・利用者の状況（視力・聴力の障害、失語症、構音障害、認知症）に応じたコミュニケーション技術の理解 <p><演習実施方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、障害者を想定したコミュニケーションのとり方の演習
②介護におけるチームのコミュニケーション	3 時間	<p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護における記録の意義、目的、利用者の状態を踏まえた観察と記録 ・介護に関する記録の種類 ・個別援助計画書 訪問・通所・入所・福祉用具貸与等 ・ヒヤリハット報告書、5W1H、報告・連絡・相談における留意点 ・コミュニケーションを促す環境 ・ケアカンファレンスの重要性 <p><演習実施方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・記録用紙を利用した記録方法
合計	6	
6 老化の理解 (6 時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①老化に伴うこころとからだの変化と日常	3 時間	<p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴の理解 防衛反応（反射）の変化、喪失体験 ・老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響の理解 咀嚼機能の低下、筋・骨・関節の変化、体温維持機能の変化、精神的機能の変化と日常生活への影響 <p><演習実施方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループに分かれ、家族など的高齢者の体の変化やそれに伴う生活への影響を列挙する
②高齢者と健康	3 時間	<p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の疾病と生活上の留意点 骨折、筋力低下と動作・姿勢の変化、関節痛 ・高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点 循環器障害の特性と危険因子、対策 老年期うつ病症状、誤嚥性肺炎、小さな変化に気づく視点、感染症にかかりやすい高齢者
合計	6	

7 認知症の理解(6時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①認知症を取り巻く状況	1時間	<講義内容> ・ 認知症ケアの理念 パーソンセンタードケア 認知症ケアの視点 (残された意欲・能力に着目したケア)
②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2時間	<講義内容> ・ 認知症の概念 ・ 認知症の原因疾患とその病態 ・ 原因疾患別ケアのポイント・健康管理 <演習実施方法> ・ 認知症の原因、症状、対応をグループワーク
③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	2時間	<講義内容> ・ 認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴 中核症状、BPSD、不適切なケア、生活環境で認知症を改善 ・ 認知症の利用者への対応 本人の気持ちを様子・表情・姿勢等から推察する プライドを傷つけない、相手の世界に合わせる、失敗しないような状況を作る、すべての援助行為がコミュニケーション、身体を通じたコミュニケーション、認知症の進行に合わせたケア <演習実施方法> ・ 認知症の利用者への対応をグループディスカッションし、ロールプレイングを行う
④家族への支援	1時間	<講義内容> ・ 認知症の受容過程での援助 ・ 家族負担の軽減 (レスパイトケア)
合計	6	
8 障害者の理解(3時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①障害の基礎的理解	1時間	<講義内容> ・ 障害の概念と ICF の分類と医学的分類 ・ 障害者福祉の基本理念、ノーマライゼーションの概念 <演習実施方法> ・ 事例検討により障害の理解を深める
②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎知識	1時間	<講義内容> ・ 障害者の理解 身体障害、知的障害、精神障害、その他の心理の機能障害 <演習実施方法> ・ 障害体験セットによる疑似体験
③家族の心理、かかわり支援の理解	1時間	<講義内容> ・ 障害の理解、障害の受容支援の方法の理解 ・ 介護負担の軽減を支援する方法
合計	3	

9 ことろとからだのしくみと生活支援技術 (75 時間)			
基本知識の学習	項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
	①介護の基本的な考え方	6 時間	<講義内容> ・倫理に基づく介護 ICF の視点に基づく生活支援、我流介護の排除 ・法的根拠に基づく介護
	②介護に関することろのしくみの基礎的理解	3 時間	<講義内容> ・学習と記憶の基礎知識 ・感情と意欲の基礎知識 ・自己概念と生きがいの理解 ・老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因の理解 ・ことろの持ち方が行動に与える影響の理解 ・からだの状態がことろに与える影響の理解
	③介護に関するからだのしくみの基礎的理解	3 時間	<講義内容> ・人体の各部の名称と動きに関する基礎知識 ・骨、関節、筋に関する基礎知識、ボディメカニクスの活用 ・中枢神経系と体性神経に関する基礎知識 ・自律神経と内部器官に関する基礎知識 ・ことろとからだを一体的に捉える ・利用者の様子と普段との違いに気づく視点
生活支援技術の講義・演習	④生活と家事	3 時間	<講義内容> ・家事と生活の理解、家事援助に関する基礎的知識と生活援助の理解 <演習実施方法> ・掃除、洗濯、衣服補修
	⑤快適な居住環境整備と介護	6 時間	<講義内容> ・快適な居住環境に関する基礎知識、高齢者、障害者特有の居住環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法の理解 <演習実施方法> ・福祉用具の使い方、活用方法
	⑥整容に関連したことろとからだのしくみと自立に向けた介護	6 時間	<講義内容> ・身体状況に合わせた衣服の選択、着脱について ・身支度、整容行動、洗面の意義・効果について <演習実施方法> ・顔の拭き方、爪の手入れ、衣服の着脱、口腔ケア
	⑦移動・移乗に関連したことろとからだのしくみと自立に向けた介護	6 時間	<講義内容> ・移動、移乗に関する基礎知識とその用具の利用方法 ベッド・車椅子・歩行器・杖・ポータブルトイレ ・利用者、介助者双方が安全で安楽な方法の理解 ・褥瘡予防の理解 <演習実施方法> ・体位、姿勢変換の介助、車椅子介助、歩行介助（肢体不自由者、視覚障害）、移乗

<p>⑧食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	<p>6時間</p>	<p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事にに関する基礎知識の理解 食事をする意味、咀嚼・嚥下のメカニズム、低栄養の弊害 ・食事環境の整備（時間・場所等）、食事に関連した用具・食器の活用方法 ・食事形態とからだのしくみ 高齢者の食事、調理法、疾患と食事、誤嚥の留意点 <p><演習実施方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事介助の方法（片麻痺、視覚障害） ・ミキサー食等の実食
<p>⑨入浴・清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	<p>6時間</p>	<p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・入浴、清潔保持に関連した基礎知識 羞恥心や遠慮への配慮、体調の確認 ・様々な入浴用具と整容用具の活用法 ・楽しい入浴を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法 <p><演習実施方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・浴槽を利用した入浴介助、全身清拭、陰部洗浄 ・ケリーパッドを利用した洗髪
<p>⑩排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	<p>6時間</p>	<p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・排泄に関する基礎知識（排泄のメカニズム） ・様々な排泄環境整備と排泄用具の活用方法 ・爽快な排泄を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法 プライド・羞恥心・プライバシーの確保・おむつは最後の手段 <p><演習実施方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポータブルトイレ、尿器、差込便器を利用した排泄介助、おむつ交換
<p>⑪睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	<p>6時間</p>	<p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・睡眠に関する基礎知識 ・様々な睡眠環境と用具の活用方法 ・快い睡眠を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法 ・安楽な姿勢、褥瘡予防 <p><演習実施方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベッドメイキング、シーツ交換、シーツのたたみ方
<p>⑫死にゆく人に関したところとからだのしくみと終末期介護</p>	<p>3時間</p>	<p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・終末期に関する基礎知識とところとからだのしくみ ・「生」から「死」への過程の理解 ・「死」に向き合う心の理解、苦痛の少ない死への支援 <p><演習実施方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な人の死についての体験のグループディスカッションと発表

生活支援技術演習	⑬介護過程の基礎的理解	6時間	<講義内容> ・情報収集（利用者の状態像の把握） ニーズ・生活課題の把握、介護の方向性の明確化 ・介護計画の立案 生活目標の設定、支援内容・方法の決定 ・実践 計画に基づく実践、尊厳の保持・自立支援 ・評価 目標の達成度の把握、支援内容・方法の適不適、今後の方針等の検討 必要に応じて計画の修正・変更 ・目標の達成 ・事例をもとに実際に考えてみる <演習実施方法> ・アセスメント、介護計画、介護手順の作成
	⑭総合生活支援技術演習	9時間	<演習実施方法> ・事例検討 こころとからだの力が発揮できない要因の分析 適切な支援技術の検討 支援技術演習 支援技術の課題
合計		75	
10 振り返り（4時間）			
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法	
①振り返り	2時間	<講義内容> ・研修を通じて学んだこと ・今後継続して学ぶべきこと ・根拠に基づく介護についての要点 利用者の状態像に応じた介護と介護過程 身体・心理・社会面を総合的に理解するための知識の重要性 チームアプローチの重要性 <演習実施方法> ・グループによる振り返り	
②就業への備えと研修修了後における継続的な研修	2時間	<講義内容> ・継続的に学ぶべきこと ・研修修了後における継続的な研修について、具体的にイメージ出来るような事業所等における実例（Off-JT、OJT）を紹介 <演習実施方法> ・履歴書作成	
合計		4	
全カリキュラム合計時間		130時間	

科目別講師一覧

令和3年5月1日現在

科目番号／科目名 項目番号／項目名	講師名 * 演習の補助講師は (補助講師)と記載	資格等
1 職務の理解 ①多様なサービスの理解	平野 浩子	介護支援専門員、介護福祉士
	奥深山 政道	介護支援専門員、介護福祉士
	土屋 幸子	介護支援専門員、介護福祉士
	加藤 洋子	介護支援専門員、介護福祉士
1 職務の理解 ②介護職の仕事内容や 働く現場の理解	平野 浩子	介護支援専門員、介護福祉士
	奥深山 政道	介護支援専門員、介護福祉士
	土屋 幸子	介護支援専門員、介護福祉士
	加藤 洋子	介護支援専門員、介護福祉士
2 介護における尊厳の保持 自立支援 ①人権と尊厳を支える介護	熊谷 久子	看護師
	西又 玲子	看護師
	土屋 幸子	介護支援専門員、介護福祉士
	五十嵐 愛子	介護福祉士
2 介護における尊厳の保持 自立支援 ②自立に向けた介護	西又 玲子	看護師
	平野 浩子	介護支援専門員、介護福祉士
	五十嵐 愛子	介護福祉士
3 介護の基本 ①介護職の役割、専門性と 多職種との連携	石井 俊夫	介護支援専門員、介護福祉士
	藤本 真奈	介護福祉士
	湯川 公博	介護福祉士
3 介護の基本 ②介護職の職業倫理	石井 俊夫	介護支援専門員、介護福祉士
	藤本 真奈	介護福祉士
	湯川 公博	介護福祉士
3 介護の基本 ③介護における安全の確保と リスクマネジメント	平野 浩子	介護支援専門員、介護福祉士
	石井 俊夫	介護支援専門員、介護福祉士
	藤本 真奈	介護福祉士
3 介護の基本 ④介護職の安全	平野 浩子	介護支援専門員、介護福祉士
	五十嵐 愛子	介護福祉士
	藤本 真奈	介護福祉士
4 介護・福祉サービスの理解と 医療との関係 ①介護保険制度	大友 崇弘	相談支援専門員、社会福祉士
	土屋 幸子	介護支援専門員、介護福祉士
	石井 俊夫	介護支援専門員、介護福祉士

4 介護・福祉サービスの理解と医療との関係 ②医療との連携とリハビリテーション	加藤 雅紀	医師
4 介護・福祉サービスの理解と医療との関係 ③障害福祉制度及びその他制度	大友 崇弘	相談支援専門員、社会福祉士
5 介護におけるコミュニケーション技術 ①介護におけるコミュニケーション	犹守 聡志	介護福祉士
	武井 嘉一	介護福祉士
	葛西 光一	介護福祉士
5 介護におけるコミュニケーション技術 ②介護におけるチームのコミュニケーション	犹守 聡志	介護福祉士
	武井 嘉一	介護福祉士
	葛西 光一	介護福祉士
6 老化の理解 ①老化に伴うこころとからだの変化と日常	湯川 公博	介護福祉士
	宮寄 雄介	介護福祉士
6 老化の理解 ②高齢者と健康	湯川 公博	介護福祉士
	宮寄 雄介	介護福祉士
7 認知症の理解 ①認知症を取り巻く状況	加藤 雅紀	医師
7 認知症の理解 ②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	加藤 雅紀	医師
7 認知症の理解 ③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	熊谷 久子	看護師
	西又 玲子	看護師
7 認知症の理解 ④家族への支援	熊谷 久子	看護師
	西又 玲子	看護師
8 障害の理解 ①障害の基礎的理解	加藤 雅紀	医師
	加藤 洋子	介護支援専門員、介護福祉士
8 障害の理解 ②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	加藤 雅紀	医師
	加藤 洋子	介護支援専門員、介護福祉士
8 障害の理解 ③家族の心理、かかわり支援の理解	加藤 雅紀	医師
	加藤 洋子	看護支援専門員、介護福祉士
9 こころとからだのしくみと生活支援技術 基礎知識の学習 ①介護の基本的な考え方	露木 修平	介護福祉士
	本山 亮祐	介護福祉士
9 こころとからだのしくみと生活支援技術 基礎知識の学習 ②介護に関するこころのしくみの基礎的理解	露木 修平	介護福祉士
	渋谷 知康	介護福祉士
	本山 亮祐	介護福祉士

9 心とからだのしくみと生活支援技術 基礎知識の学習 ③介護に関するからだのしくみの基礎的理解	露木 修平	介護福祉士
	渋谷 知康	介護福祉士
	武井 嘉一	介護福祉士
9 心とからだのしくみと生活支援技術 生活支援技術の講義・演習 ④生活と家事	平野 浩子	介護支援専門員、介護福祉士
	山原 靖子 (補助講師)	看護師
	土屋 幸子 (補助講師)	介護支援専門員、介護福祉士
9 心とからだのしくみと生活支援技術 生活支援技術の講義・演習 ⑤快適な居住環境整備と介護	飯田 員領	理学療法士
	堀内 典彦	理学療法士
	大町 典嗣	理学療法士
	露木 修平 (補助講師)	介護福祉士
	五十嵐 愛子 (補助講師)	介護福祉士
9 心とからだのしくみと生活支援技術 生活支援技術の講義・演習 ⑥整容に関連した心とからだのしくみと自立に向けた介護	宮寄 雄介	介護福祉士
	五十嵐 愛子	介護福祉士
	猶守 聡志	介護福祉士
	渋谷 知康 (補助講師)	介護福祉士
	露木 修平 (補助講師)	介護福祉士
	武井 嘉一 (補助講師)	介護福祉士
	三橋 裕子 (補助講師)	介護福祉士
9 心とからだのしくみと生活支援技術 生活支援技術の講義・演習 ⑦移動・移乗に関連した心とからだのしくみと自立に向けた介護	武井 嘉一	介護福祉士
	露木 修平	介護福祉士
	猶守 聡志	介護福祉士
	藤本 真奈 (補助講師)	介護福祉士
	伊藤 大輔 (補助講師)	介護福祉士
	宮寄 雄介 (補助講師)	介護福祉士
	三橋 裕子 (補助講師)	介護福祉士
9 心とからだのしくみと生活支援技術 生活支援技術の講義・演習 ⑧食事に関連した心とからだのしくみと自立に向けた介護	葛西 光一	介護福祉士
	五十嵐 愛子	介護福祉士
	猶守 聡志	介護福祉士
	山原 靖子	看護師
	藤本 真奈 (補助講師)	介護福祉士
	渋谷 知康 (補助講師)	介護福祉士
	宮寄 雄介 (補助講師)	介護福祉士
	三橋 裕子 (補助講師)	介護福祉士

<p>9 こころとからだのしくみと生活支援技術 生活支援技術の講義・演習</p> <p>⑨入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	葛西 光一	介護福祉士
	五十嵐 愛子	介護福祉士
	武井 嘉一	介護福祉士
	山原 靖子	看護師
	伊藤 大輔 (補助講師)	介護福祉士
	渋谷 知康 (補助講師)	介護福祉士
	宮寄 雄介 (補助講師)	介護福祉士
	三橋 裕子 (補助講師)	介護福祉士
<p>9 こころとからだのしくみと生活支援技術 生活支援技術の講義・演習</p> <p>⑩排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	葛西 光一	介護福祉士
	露木 修平	介護福祉士
	渋谷 知康	介護福祉士
	山原 靖子	看護師
	武井 嘉一 (補助講師)	介護福祉士
	三橋 裕子 (補助講師)	介護福祉士
	宮寄 雄介 (補助講師)	介護福祉士
	伊藤 大輔 (補助講師)	介護福祉士
<p>9 こころとからだのしくみと生活支援技術 生活支援技術の講義・演習</p> <p>⑪睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	露木 修平	介護福祉士
	渋谷 知康	介護福祉士
	犹守 聡志	介護福祉士
	五十嵐 愛子 (補助講師)	介護福祉士
	武井 嘉一 (補助講師)	介護福祉士
	藤本 真奈 (補助講師)	介護福祉士
	伊藤 大輔 (補助講師)	介護福祉士
	<p>9 こころとからだのしくみと生活支援技術 生活支援技術の講義・演習</p> <p>⑫死にゆく人に関するこころとからだのしくみと終末期介護</p>	西又 玲子
渋谷 知康		介護福祉士
湯川 公博		介護福祉士
宮寄 雄介 (補助講師)		介護福祉士
五十嵐 愛子 (補助講師)		介護福祉士
武井 嘉一 (補助講師)		介護福祉士
伊藤 大輔 (補助講師)		介護福祉士
<p>9 こころとからだのしくみと生活支援技術 生活支援技術演習</p> <p>⑬介護過程の基礎的理解</p>		熊谷 久子
	奥深山 政道	介護支援専門員、介護福祉士
	土屋 幸子	介護支援専門員、介護福祉士
	葛西 光一	介護福祉士
	宮寄 雄介 (補助講師)	介護福祉士
	渋谷 知康 (補助講師)	介護福祉士
	五十嵐 愛子 (補助講師)	介護福祉士

9 こころとからだのしくみと 生活支援技術 生活支援技術演習 ⑭総合生活支援技術演習	奥深山 政道	介護福祉士
	湯川 公博	介護福祉士
	宮寄 雄介	介護福祉士
	武井 嘉一（補助講師）	介護福祉士
	渋谷 知康（補助講師）	介護福祉士
	露木 修平（補助講師）	介護福祉士
	三橋 裕子（補助講師）	介護福祉士
10 振り返り ①振り返り	奥深山 政道	介護福祉士
	本山 亮祐	介護福祉士
	宮寄 雄介	介護福祉士
	渋谷 知康	介護福祉士
10 振り返り ②就業への備えと研修終了後における継続的な研修	奥深山 政道	介護福祉士
	本山 亮祐	介護福祉士
	石井 俊夫	介護支援専門員、介護福祉士
	宮寄 雄介	介護福祉士